

## 令和 6 年度第 1 回備前市振興計画審議会の開催概要

## 1 開催目的

備前市総合計画の見直し（後期基本計画の策定）に当たり、市民、関係団体、民間事業者等から意見等を求める場として、第 1 回目の審議会を開催した。

## 2 開催日：令和 6 年 12 月 25 日（水）

## 3 審議会委員

岡山大学	三村 聡（会長）
備前市自治会連絡協議会	金本 伸一（副会長）
備前東商工会	中本 孝一郎
備前県民局地域政策部地域づくり推進課	宗田 勝志
関西福祉大学看護学部看護学科	中村 有美子
備前日生信用金庫総合企画部	中川 正典
備前市社会福祉協議会	山形 明
備前市労働組合協議会	三木 隆司
RSK 山陽放送株式会社営業局	中藤 歳浩
NPO 法人備前プレーパークの会	北口 ひろみ
市民公募	松熊 健二
市民公募	松崎 彩
市民公募	三木 惇郎

## 4 事務局説明のポイント

- 総合計画について、令和 7 年度からの後期基本計画の取組や数値目標等を策定
- 総合計画と一体的に策定している総合戦略も合わせて改訂
- 策定では、人口減少・少子高齢化への対応が最重要課題であり、
  - 若者や女性に選ばれる“まち”をつくるという視点と  
2050 年の本市人口が 16,553 人と推計されていることを踏まえて
  - 人口減少の社会に適応するまちづくりの視点  
の 2 つを意識しながら具体の策定に取り組むことが必要
- デジタル庁の Well-being（地域幸福度）指標を活用して、主観と客観の両面から、地域の強みと弱み、世代間の意識差等を分析し、根拠のある計画を策定

## 5 委員からの主な意見等

## 【まちづくり全体】

- 日本全体の人口が減少しているなかでどのように取組みを進めていくのか考える必要である。
- 縮小への対応をどのように取り組むべきなのか。
- 20歳から39歳までの女性が減少すれば人口減少が進展するので、当事者の求めているものを捉えて行政に活かすことがないと、当事者意識とマッチングしないのではないか。
- 備前市が取り組んでいることを住民は気づいていない、知らないのではと気になった。
- 行政と市民の関わり方の一つとして、市民と市役所のプロジェクトチームをつくってトライすることも主体的に住民が関わられるような機会ができると思う。
- 備前市を選んでいるという実感が沸くようなまちになったらいいと思う。

## 【個別施策】

## (地域コミュニティ)

- 自治会として地域を良くする、防災も含めてどのように関心を持ってもらうかというのは取り組んでいく必要がある。

## (子育て)

- 親子だけではなく、地域、企業を含めてみんなで子育てしていこうという動きに貢献したい。
- 経済的なこと以外に、子どもをたくさん産もうと思えるようなまちはどんなまちかということを感じる。
- 移住してきたが、子育て支援が充実していることに感銘を受けた。

## (健康・福祉)

- 長い目で見たときに産婦人科があること、総合的医療を受診できること、その繋がりがあれば生まれた後もこのまちに住みたいことに繋がるのではないか。
- 子ども、若者は頻繁に使われるが、高齢者福祉は大丈夫かと思う。高齢者・障害者の福祉について意見を言いたい。
- 既存企業への支援充実について、備前市で住んでいる人が企業に就職してもらうために、備前市と企業がタイアップして取組ができないか。

## (産業経済)

- 企業がないと雇用の場もないので積極的な企業誘致を進めてほしい。
- 海運業の振興について非常に興味を持っている。
- 観光面での開発も進めてもらいたい。

- 働く者として、持続可能な雇用の創出・安定があって、初めて住宅施策の促進、そして移住転入が増え、子どもたちに質の高い教育を提供できるのではないか。
- 雇用の地域採用も含めて地域で循環する仕組みをどのように構築していくのが大事である。

(移住・定住)

- 住むところ、家を建てる場合、市外の土地を選ぶ。
- 備前市では子どもが増えている地区はあるが、紹介できる物件がないこともあり、備前に移住して出たくなくても出ていかざるを得ないという声もある。
- 増加している空き家をどのように活用するのか、リフォーム等の課題はあるが流動化させている事例を参考にしながら、可能であれば民間主導も含めた仕組みをつくることも議論したい。
- 昼間人口は多いが、その昼間人口を定住させる施策ができていない。

6 今後の進め方

- 総合計画（総合戦略含む）は本年 11 月議会の上程を目指して作業を進める。
- 各部局には原案作成に向けたシート作成の依頼と合わせてヒアリングを今後実施する（4月～7月）。
- 原案作成後、審議会での審議を経た後、成案を得る（7月～10月）。

(以 上)